

## 1 基本事項

趣旨、目的

【ポイント】

- ・市民に分かりやすく
- ・医療に対するイメージを変える

## 2 下関の現況

- (1) 地勢と交通
- (2) 人口・世帯構造
- (3) 人口動態
- (4) 下関医療圏
- (5) 受療動向
- (6) 医療提供体制

## 3 下関医療圏の特徴(強み)・課題

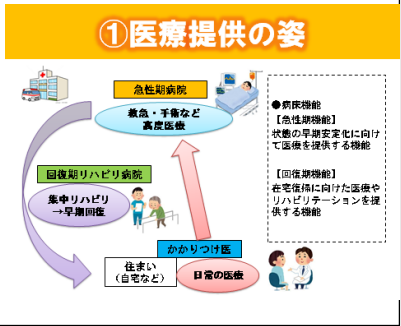
医師会: 夜間急病診療所  
救急患者の搬送ほぼ圏域内

- (1) 医師の高齢化
- (2) 医師の高齢化の要因

- ・かかりつけ医、有床診療所
- ・認知症の救急

## 4 下関医療圏が目指す医療提供体制

- ・市の方向性
- ・それぞれの役割
- ・医療提供の姿(サイクル図)
- ・地域完結型医療(病院完結型医療からの移行)
- ・政策医療(5疾病・5事業・感染・難病)のなかで果たす役割



## 5 必要な取組

- (1) 将来の医療人材の確保(新専門医制度)
  - (2) 市民の理解の促進
    - ・医療資源 × 患者(マッチング)
- ACP、DNAR、病床機能、外来機能、患者の受け皿、へき地医療、回復期・慢性期機能の担い手確保、健康づくり(ふくふく健康21)、介護予防(シルバープラン)
- ※全県の取組

## 6 【基幹病院】(中間報告抜粋)

- ・医療従事者の確保や専門医(総合診療医を含む)・専門看護師等の養成が可能
- ・プライマリケア(日常的で身近な病気や怪我の診療)を行う医療機関の後方支援が可能
- ・将来にわたって診療や経営が持続可能
- ・希少疾患以外は全て市内で対応可能(希少疾患は圏域外医療機関と連携し対応)
- ・救急患者は全て市内で受入可能
- ・災害や大規模な感染症の発生(パンデミック)に対応可能

- ・救急の初診は総合診療科が対応
- ・マグネットホスピタル(医療者を教育した後に地域に送り出す役割)
- ・地域完結型医療(開業医・医師会・地域の病院・介護・行政が一体)